

米国で初開催「Japan Expo」の出展参加報告

平成25年9月10日
サンフランシスコ産業情報センター
駐在員 佐藤 賢児

近年、日本のアニメやマンガが、日本以外の国でも若者を中心に人気が高まっていると言われていますが、このような中、「Japan Expo」という日本のポップカルチャーを中心に紹介するイベントが、先月下旬に米国で初めて開催されました。

この度、当センターは、現地日系関係機関との連携によりこのイベントに出展参加し、本県の観光PR活動を実施しましたので、今回はその概況について報告します。

【米国で初開催の「Japan Expo」】

今回、当センターが出展参加した「ジャパン・エキスポ (Japan Expo)」は、カリフォルニア州サンタクララのコンベンションセンターで、8月23日から週末にかけて3日間開催されました。

このジャパン・エキスポは、日本のマンガやアニメ、音楽、伝統文化などを幅広く紹介するカルチャーイベントで、フランスのパリやマルセイユ、オルレアン、ベルギーのブリュッセルでも開催されており、現在ではポップカルチャーだけでなく、日本の伝統文化等も含め幅広く紹介するイベントとして人気を集めています。

ちなみに、2000年に初めてのジャパン・エキスポが開催されたパリでは、毎年着実に出展者数と来場者数が増加しており、主催者によると、昨年は4日間で約22万人が訪れたそうです。

今回、米国で初開催となったサンタクララのイベント会場には、アニメ関連グッズ等を販売するショップや現地の県人会、日本の伝統文化の愛好家団体、若手クリエイターの他、日本の食料品・衣料服メーカーなど、約100企業・団体がブース出展し、当センターは、日本政府観光局 (JNTO) が運営する「Japan Travel ブース」内で、在サンフランシスコ日本国総領事館や日系旅行代理店、日系航空会社、政府系事務所、地方自治体事務所等と連携し、訪日観光促進活動を実施しました。

主催者が配布していたリーフレットによると、今まで欧州で開催された本イベントの来場者の59%が15才～25才で、25才以上が27%、15才以下が14%となっており、25才以下の来場者で73%を占めていることとなります。



本県ブース前でポーズをとるイベント来場客

実際に、今回のサンタクララ会場においても、この統計結果の通り多くの若者が集まり、また、アニメキャラクターのコスプレ姿の来場客も数多く見られ、中にはイベントのパフォーマーか一般の来場客か一見して分からないほどの完成度の高いコスプレ姿の来場客も見受けられました。

当センターの出展ブースでは、通常の観光イベントで掲出している本県の各種観光パンフレットや当センターが発行している観光ニュースレターの他にも、「知多娘。」による県内観光地の紹介パンフレットを多数用意し、また、ブース来訪者に対しては、県内の主要観光スポット以外にも、平成 15 年から毎年名古屋の大須で開催されている国際的なコスプレイベント「世界コスプレサミット」や、先月から開催された「あいちトリエンナーレ 2013」も紹介しました。

そして、当センターは、来場客が指定された出展ブースを周る「スタンプラリー」へ参加したこともあり、多くの方に本県ブースに来ていただきましたが、ブース来訪者に、県内の主要観光地や滞在した場合にどんな活動に関心があるか尋ねたところ、史跡巡りや名古屋めし、前述のような大規模イベントへの参加に関心を示す人が多いようでした。

【幅広く日本文化を紹介するパフォーマンスも】

イベント会場内では、各企業・団体によるブース出展以外にも、コスプレショーや柔道・合気道・空手・日本刀の試し斬りなど武道の演舞、アニメ映画の上映、アニメ業界の著名人によるトークショー、応援団によるパフォーマンスや、和太鼓の演奏や琉球舞踊、餅つき、阿波踊りなど日本の「祭り」をテーマにしたステージ・パフォーマンスなども行われ、伝統芸能からポップカルチャーまで、様々な日本の文化を幅広く来場客に紹介することで、日本への関心や理解を一層深めてもらう取組も見られました。

今後も、今回のようなイベントへの出展参加を通じ、県内観光地へ訪問する米国からの観光客が少しでも増えるよう、現地の関係機関と連携し、引き続き積極的に観光PR活動にも取り組んでいきたいと思ひます。

